

申取に其宜水方情と云月事の海内分書に記し悦書之六可  
國産し種植的の煽動を可なり申取に七十二日朝の毎夜出動  
時より利月の内胎胎之に新し宜付るう堪ある等悦書十二分  
有る我よりしメトシ種と策動中より此の泡意中一五分迄  
十号板機田の少人少地を此の五分の間に其の地也也  
三、是地中出悦書之願記た言悦書

(1) 日時

十一月十五日月出の時と下園舎を在り十一月

(2) 場所

板橋市 在り区 概分是 永寺公舎也

(3) 気象

白雲を在り七十二日と云地製作新ノ地見の解工と年

お書之しり

(1) 日一

申取地之 未島三好

(2) 場所

申取地之 十田坊之

(3) 書化

申取地之 雲孕云在悦

悦書之 伊羅 位

米山 甘小

(4) 申取地之 概元

其色野知悦

体云其地之説か申取地之為の故に同申ク建院にあり其か分悦書  
依地除録に有るふと云と云 利用可立悦書下ノ一好お初り初  
一區し目下本初之孔ノ交悦中在る未の悦法一悦書一表いし  
カ今四申取地之悦書者一悦書一悦書一悦書一悦書一悦書一悦書